

平成 30 年度 事業報告

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

公益財団法人 S G H 財団

本年度も、国際的で活力ある社会の創造に向け、多面的かつ幅広く社会活動に寄与することを目的として、教育・文化、医療・福祉、経済・産業等の振興、発展を図るための研究及び事業への助成等を行うとの本財団の設立趣旨に則し、公益財団法人として、公益目的事業の充実を図るべく、事業計画に従い、東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国からの外国人留学生に対する奨学金助成事業、がんの基礎研究並びに応用治療研究に対する助成、褒賞事業、並びにがんに関する講演会及び市民講座を実施した。また、物流人材育成を目的に中華人民共和国からの研修生の受け入れ及びラオス人民民主共和国、ベトナム社会主義共和国での講義の提供を行った。

I 事業の概要

公益目的事業

1 留学生奨学事業

(1) S G H 奨学生

日本の大学または大学院に在学する東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国の国籍を有する私費外国人留学生を対象とし、大学に募集要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の平成 30 年 4 月 17 日までに 94 大学から 109 名の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、奨学金の受給者を選出、理事長の承認を得て、次のとおり奨学支援を行った。

第 33 期奨学生：16 名（一人当たり月額 10 万円、支給期間 2 年間）
年間支給額：1,920 万円（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）

氏 名	国籍 大学／学部・研究科 (敬称略・順不同)
チャン ティ ラン ディエン	ベトナム 北海道大学 現代日本学プログラム課程
ティ ティ ウー	ミャンマー 東洋大学 国際地域学部
ルーン ティ タン ビン	ベトナム 福井工業大学 環境情報学部

ブイ ティ フォン ラン	ベトナム 名古屋経済大学 経営学部
リム シ オン	マレーシア 金沢大学 人間社会学域
レー ティ チン	ベトナム 秋田大学 理工学部
トラン ティ ホアン リン	ベトナム 立命館アジア太平洋大学 国際経営学部
ルストレ アンジェラ イサベル カラニアン	フィリピン 武蔵野大学 グローバル学部
トン フォック ティン	ベトナム 豊橋技術科学大学 工学部
タン ウエイ キート	マレーシア 京都大学大学院 理学研究科
プリシラ ヨン メイ イエン	マレーシア 大阪市立大学大学院 理学研究科
チャーワチョープ ナッティヤー	タイ 東海大学大学院 工学研究科
ヘイン ボラネー	カンボジア 事業創造大学院大学 事業創造研究科
ラハユ エリンダ	インドネシア 東北大学大学院 文学研究科
ソン ダリン	カンボジア 東京農業大学大学院 農学研究科
リキー ステパヌス スイトウモラン	インドネシア 室蘭工業大学大学院 工学研究科

第 32 期奨学生：16 名（一人当たり月額 10 万円、支給期間 2 年間）
年間支給額：1,920 万円（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）

氏 名	国籍 大学／学部・研究科 （敬称略・順不同）
グエン ティ キム アン	ベトナム 秀明大学 観光ビジネス学部
サフィットリ エフィヤニ	インドネシア 崇城大学 情報学部
ゴー メイ シン	マレーシア 東京経済大学 経済学部

ロニー クリスティアディ サリム	インドネシア 大阪工業大学 工学部
アナンシリプラパー カンヤナット	タイ 立命館アジア太平洋大学 国際経営学部
グナワン トミー	インドネシア 龍谷大学 理工学部
タ ティ バン	ベトナム 福岡女子大学 国際文理学部
ファム チュン ジャン	ベトナム 豊橋技術科学大学 工学部
ル ル	ミャンマー 法政大学 経済学部
ニン ティ デュク ミン	ベトナム 尚美学園大学 総合政策学部
ビジイト ケオレク	カンボジア 東京農業大学大学院 農学研究科
グエン ティ ツェット マイ	ベトナム 徳島大学大学院 先端技術科学教育部
ウィン トウン アン	ベトナム 東京国際大学大学院 経済学研究科
ゲリー タナマス	インドネシア 桃山学院大学大学院 経営学研究科
ヨスア ナターシャ	インドネシア 東京工業大学大学院 環境・社会理工学院
チンサティ ワラポン	タイ 九州工業大学大学院 情報工学府

(2) 奨学生交流活動

① 第33期SGH奨学生採用証書授与式

第33期SGH奨学生を対象とした授与式を次のとおり開催した。

日 時	平成30年10月29日（月）12:45～15:00
場 所	ホテル日航プリンセス京都
内 容	第33期SGH奨学生採用証書授与式

② 交流会

第33期SGH奨学生、第32期SGH奨学生及び卒業奨学生との留学生相互間の交流を深めることを目的として、次のとおり交流会を開

催した。

日 時	平成 30 年 10 月 27 日（土）～28 日（日）
場 所	京都府、滋賀県
内 容	佐川美術館見学 観光（清水寺） 体験（着物着付け体験、京扇子絵付け体験）

③ 同窓会（なごみ会）

奨学生及び卒業奨学生が互いの現況報告や情報交換をする交流の場を設けると共に、卒業奨学生と長期にわたり繋がりを維持していくことを目的として、同窓会（なごみ会）を次のとおり開催した。

・同窓会（なごみ会）

日 時	平成 31 年 1 月 26 日（土）17:00～19:00
場 所	東京ドームホテル
内 容	現況報告、情報交換等

・海外同窓会（なごみ会）

日 時	平成 30 年 7 月 29 日（日）12:00～14:00
場 所	ベトナム ロッテレジェンドホテルサイゴン
内 容	現況報告、情報交換等

(3) 刊行物発刊

① 奨学生報告集「2018 年度版 アジアの和」

第 33 期 S G H 奨学生の留学目的、学習または研究の方針及び感想文等と第 32 期 S G H 奨学生の私の夢について掲載、平成 30 年 10 月に 230 部発刊し、奨学生、卒業奨学生及び財団関係者に配付した。

② 第 32 期 平成 31 年 3 月卒業奨学生 研究成果・感想文集

平成 31 年 3 月に卒業した第 32 期 S G H 奨学生 16 名の研究成果・感想文集を平成 31 年 2 月に 200 部発刊し、奨学生、卒業奨学生及び財団関係者に配付した。

2 助成事業・褒賞事業

(1) 第 30 回 S G H がん研究助成

日本の大学、研究機関、医療機関等において、がんに関する基礎研究

または臨床研究に携わる満 45 歳未満の日本人研究者及び医療従事者、並びに日本に定住する外国人研究者及び医療従事者の優れた研究を助成対象とし、大学、研究機関、医療機関等に応募要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の平成 30 年 6 月 30 日までに 83 機関から 198 件の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、助成対象者を選出、理事長の承認を得て、次のとおり助成を行った。研究期間終了後、研究報告書及び会計報告書を入手する。

助成数：15 件 金額：1,500 万円（1 件当たり 100 万円）

氏 名	所属・役職／研究テーマ	（敬称略・五十音順）
五十嵐 正樹	東京大学医学部附属病院糖尿病・代謝内科助教 発癌起点に着目した高齢者大腸癌の発癌機構解明	
石原 誠一郎	北海道大学大学院先端生命科学研究院先端融合科学研究部門助教 硬さ依存的に活性化する新規がん促進性転写因子の同定と機能解析	
石本 崇胤	熊本大学大学院生命科学部消化器外科学特任准教授 スキルス胃癌腹膜播種を促進する多様な細胞間ネットワーク機序の解明	
小坂 威雄	慶應義塾大学医学部泌尿器科学教室専任講師 難治性前立腺癌のシングルセル解析によるゲノム・エピゲノム進化と腫瘍内不均一性の解明	
古屋 淳史	国立研究開発法人国立がん研究センター研究所分子腫瘍学分野主任 研究員 網羅的遺伝子解析に基づく NK 細胞腫瘍マウスモデリングおよび病態解明	
昆 俊亮	東京理科大学生命医科学研究所発生及び老化研究部門講師 がん細胞の浸潤機構の解明	
齊藤 朋人	関西医科大学医学部呼吸器外科学講座講師 Invasive front の 3 次元可視化と空間的病理解析による肺腺癌の浸潤機構の解明	
志水 陽一	京都大学医学部附属病院放射線部助教 がん低酸素領域を標的とする新規代謝捕捉型 PET 診断剤の開発： がん Radio-theranostics への展開	
立石 健祐	横浜市立大学大学院医学研究科脳神経外科学助教 IDH1 変異が誘導する DNA 修復機構変化の解明と合成致死性治療法の開発	
塚本（栗井） 博丈	熊本大学大学院生命科学研究部免疫学分野講師 PD-1 阻害療法における免疫関連有害事象マネジメントと抗腫瘍免疫増強を両立する治療戦略開発	

内藤 尚道	大阪大学微生物病研究所情報伝達分野助教 血管内皮幹細胞を標的とした腫瘍血管新生阻害療法の開発
中岡 博史	情報・システム研究機構国立遺伝学研究所人類遺伝研究部門助教 癌関連体細胞変異を保有する正常子宮内膜上皮細胞の分子表現型に関する研究
中川 勇人	東京大学医学部附属病院消化器内科助教 肝細胞癌特異的遺伝子改変システムを用いた混合型肝癌の起源細胞・発生機序解明
船戸 洋佑	大阪大学微生物病研究所細胞制御分野助教 がん細胞のエネルギー代謝における細胞の環境 pH 応答の制御
皆川 茜	信州大学医学部皮膚科学教室助教 メラニン測定による爪部メラノーマの低侵襲的診断手法の開発

(2) 第16回SGH特別賞

がんの研究に顕著な功績を挙げ、かつ今後の発展が期待される研究者及び医療従事者の推薦を学識経験者、当財団理事、評議員及び顧問に依頼した結果、推薦締切の平成30年6月30日までに8件の推薦があり、選考委員会による慎重かつ公正な選考結果をもとに理事長の承認を得て、次のとおり褒賞を行った。翌年度、受賞テーマの研究報告書を入手する。

贈呈数：2件 総額：1,000万円（1件当たり500万円）

栗和田榮一賞：彫刻家 笹戸千津子氏作のブロンズ像「希望」

氏名	所属・役職／受賞テーマ	(五十音順)
工藤 正俊 氏	近畿大学医学部消化器内科学主任教授 肝細胞癌の診断と治療、特に新規薬剤・新規治療法の開発研究	
西山 正彦 氏	群馬大学大学院医学系研究科病態腫瘍薬理学教授 群馬大学学長特別補佐 難治性がんトランスレーショナル・リサーチ：医療シーズの策定から臨床開発研究まで	

(3) 第16回SGH看護特別賞

がんの看護、予防、医療に関する研究に顕著な業績を挙げ、将来も活動が継続され、その成果が期待される個人、または団体の推薦を学識経験者、当財団理事、評議員及び顧問に依頼した結果、推薦締切の平成30年6月30日までに23件の推薦があり、選考委員会による慎重かつ公正な選考結果をもとに理事長の承認を得て、次のとおり褒賞を行った。翌

年度、受賞テーマの研究報告書を入手する。

贈呈数：2件 総額：200万円（1件当たり100万円）

栗和田榮一賞：彫刻家 笹戸千津子氏作のブロンズ像「悠」

氏名	所属・役職／受賞テーマ	(五十音順)
石川 睦弓 氏	静岡県立静岡がんセンター研究所患者・家族支援研究部研究部長 がん患者の悩みや負担の体系化とそれに基づく患者・家族支援体制の整備	
鈴木 志津枝 氏	神戸市看護大学学長兼教授 がん看護専門看護師の事例検討会を通しての家族ケア能力の開発	

(4) 授与式・授賞式の開催

第30回SGHがん研究助成金受領者を対象とした授与式、第16回SGH特別賞授賞式、第16回SGH看護特別賞授賞式、並びに第15回SGH特別賞受賞者、第15回SGH看護特別賞受賞者による記念講演を次のとおり開催した。

日時	平成30年12月1日（土）11:00～13:05
場所	ホテルグランヴィア京都
内容	第30回SGHがん研究助成金授与式 第16回SGH特別賞・SGH看護特別賞授賞式 第15回SGH特別賞受賞記念講演 井垣 達吏 氏 「細胞競合によるがん制御の分子基盤」 (京都大学大学院生命科学研究科システム機能学分野教授) 白土 博樹 氏 「動体追跡放射線治療研究」 (北海道大学大学院医学研究院教授) 第15回SGH看護特別賞受賞記念講演 宇野 さつき 氏 「地域緩和ケアの普及と質の向上に向けたネットワークの推進」 (医療法人社団新国内科医院看護師長・がん看護専門看護師) 長澤 昌子 氏 「緩和ケア認定看護師に求められるコアコンピテンシーと研修プログラムの開発」 (岩手医科大学附属病院高度看護研修センター緩和ケア認定看護師教育課程主任教員)

(5) 研究成果報告集の刊行

第 29 回 S G H がん研究助成金受領者及び第 15 回 S G H 特別賞受賞者、第 15 回 S G H 看護特別賞受賞者より提出されたがんに関する研究成果報告と平成 30 年度の事業報告を掲載し、「2018 S G H がん研究報告 Vol.29」を平成 31 年 3 月に 1600 部発刊し、全国の大学、病院等の研究機関、図書館等に配付した。

3 がんに関する市民講座の開催

第 17 回市民公開講座を次のとおり開催した。

なお、採録記事を読売新聞朝刊(平成 31 年 3 月 17 日付)に掲載した。

第 17 回市民公開講座

「がんとともに生きる～患者に寄り添う医療とは?～」

日 時	平成 31 年 2 月 24 日 (日) 13:00～15:40
場 所	グランフロント大阪北館 B2F ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター
内 容	講演 (70 分) 「人はがんとどう向き合うか?」 垣添 忠生 氏 (国立がんセンター名誉総長/公益財団法人日本対がん協会会長)
	講演 (50 分) 「がんとともに歩む人を支えて～マギーズ東京の試み～」 秋山 正子 氏 (認定 NPO 法人マギーズ東京共同代表理事 マギーズ東京センター長)
コーディネーター	平岡 眞寛 氏 (日本赤十字社和歌山医療センター院長)
司 会	植月 百枝 氏 (フリーアナウンサー)
参加者数	900 名
後 援	公益財団法人日本対がん協会
協 力	SG ホールディングスグループ

その他事業

1 中古トラックの無償寄贈事業

本事業については、本年度は休止した。

2 人材育成支援事業

(1) 日中友好物流人材育成支援研修

中華人民共和国広東省の深圳大学で物流を専攻する学生 10 名を受け入れ、日本において下記のとおり研修を実施した。

日 時 平成 30 年 8 月 20 日（月）～8 月 24 日（金）

場 所 東京都、千葉県、神奈川県

内 容 第 2 期日中友好物流人材育成支援研修
いすゞ自動車販売株式会社
トヨタ L&F カスタマーズセンター東京
佐川急便株式会社
佐川グローバルロジスティクス株式会社

(2) ラオス物流人材育成支援

ラオス人民民主共和国のラオス国立大学で物流を専攻する学生 55 名並びに公共事業運輸省、業界団体、民間物流事業の実務者 25 名に下記のとおり講義の提供を行った。平成 26 年度より、国土交通省と連携し、ASEAN 地域を対象に物流に関する講義の提供を行っている。

日 時 平成 30 年 5 月 14 日（月）～5 月 22 日（火）

場 所 ラオス人民民主共和国 ヴィエンチャン

内 容 第 2 回ラオス物流集中講義
ラオス国立大学
(5 月 14 日～5 月 18 日／物流を専攻する 4 年生 55 名)
公共事業運輸省訓練センター
(5 月 21 日～5 月 22 日／実務者 25 名)

(3) ベトナム物流人材育成支援

ベトナム社会主義共和国のホーチミン交通大学で物流を専攻する学生 138 名に下記のとおり講義の提供を行った。平成 26 年度より、国土交通省と連携し、ASEAN 地域を対象に物流に関する講義の提供を行っている。

日 時 平成 30 年 7 月 16 日（月）～7 月 27 日（金）

場 所 ベトナム社会主義共和国 ホーチミン

内 容 第 4 回ベトナム物流集中講義
ホーチミン交通大学
佐川グローバルロジスティクス株式会社
SG 佐川ベトナム・ディストリビューション・センター

II 処務の概要

1 役員等に関する事項

(1) 役員に関する事項

理事 定数：5名以上7名以内 現在：6名 任期：2年

監事 定数：3名以内 現在：2名 任期：4年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
理事長	栗和田 榮一	SGホールディングス株式会社代表取締役会長 佐川急便株式会社社長
理事	大久保 潔	SGホールディングス株式会社シニアマネジャー
理事	小西 郁生	独立行政法人国立病院機構京都医療センター院長
理事	西堀 正司	公益社団法人日本中国友好協会専務理事
理事	平岡 眞寛	日本赤十字社和歌山医療センター院長
理事	古城 紀雄	大阪大学名誉教授
監事	奥村 和義	紫野税理士法人代表社員
監事	北村 善和	北村善和税理士事務所所長

(2) 評議員に関する事項

評議員 定数：5名以上7名以内 現在：6名 任期：4年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
評議員	上田 龍三	愛知医科大学腫瘍免疫寄附講座教授 名古屋市立大学名誉教授
評議員	奥村 正悟	京都大学学生総合支援センター キャリアサポートルーム室長（特任教授）
評議員	佐野 友紀	SGホールディングス株式会社取締役
評議員	武藤 誠	京都大学国際高等教育院特定教授 京都大学大学院医学研究科特命教授
評議員	根本 好教	元財団法人社会安全研究財団専務理事
評議員	松本 秀一	SGホールディングス株式会社執行役員

(3) 顧問に関する事項

顧問 定数：なし 現在：13名 任期：2年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
顧問	垣添 忠生	公益財団法人日本対がん協会会長
顧問	川井 仁	株式会社三菱 UFJ 銀行執行役員 京都支社長
顧問	菊地 宏子	元一般財団法人佐川国際経済協力会事務長
顧問	北島 政樹	国際医療福祉大学副理事長 名誉学長
顧問	葛野 正彦	いすゞ自動車販売株式会社取締役副社長
顧問	河野 伊一郎	倉敷芸術科学大学学長 独立行政法人国立高等専門学校機構顧問 岡山大学名誉教授 (元学長)
顧問	佐谷 秀行	慶應義塾大学病院副院長 臨床研究推進センター長
顧問	高月 清	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院評議員 熊本大学名誉教授
顧問	橋本 逸男	公益社団法人日本中国友好協会副会長 日本ラオス協会会長 日本無線株式会社社外取締役
顧問	畠 清彦	国際医療福祉大学三田病院副院長 悪性リンパ腫血液腫瘍センター長
顧問	三嶋 理晃	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院院長
顧問	村岡 久平	公益社団法人日本武術太極拳連盟会長 公益社団法人日本中国友好協会名誉副会長
顧問	山岸 久一	京都府特別参与 京都府地域医療支援センター長 元京都府立医科大学学長

2 会議に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成30年6月4日	平成 29 年度事業報告及び附属明細書の承認の件	承認
	平成 29 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件	承認

	選考委員（SGH奨学生、SGHがん研究助成、SGH特別賞、及びSGH看護特別賞）選任の件	承認
	諸規程の改定の件	承認
	定時評議員会開催の件	承認
	職務執行状況について	報告
平成30年6月19日 (みなし決議)	SGホールディングス株式会社第12回定時株主総会における議決権行使の件	承認
平成31年3月25日	2018年度補正収支予算書承認の件	承認
	特定費用準備資金設定の件	承認
	SGH奨学生奨学金増額の件	承認
	SGH奨学生選考委員1名選任の件	承認
	SGHがん看護研究助成増設の件	承認
	SGHがん看護研究助成選考委員6名選任の件	承認
	諸規程制定及び改定の件	承認
	2019年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類承認の件	承認
	職務執行の状況について	報告

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成30年6月25日	平成29年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件	承認
	平成29年度事業報告の件	報告

(3) 各種委員会

① 第33期SGH奨学生選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成30年5月6日	第33期SGH奨学生の選考に関する件	対象者を選出

② 第30回SGHがん研究助成選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成30年9月3日	第30回SGHがん研究助成選考に関する件	対象者を選出

③ 第16回SGH特別賞選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成30年8月3日	第16回SGH特別賞選考に関する件	対象者を選出

④ 第16回SGH看護特別賞選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成30年8月27日	第16回SGH看護特別賞選考に関する件	対象者を選出

3 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

(1) 理事の職務執行に係る情報の保存及び管理に関する事項

理事の職務執行は、法令及び定款等に基づいて行われ、その職務執行に係る情報は、理事会議事録に記載され、その記録の保存・管理は、適切に保存及び管理している。

(2) 理事及び職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

法令、定款及び社会規範等の厳守を目的としている。

4 内閣府への提出等に関する事項

提出年月日	内容
平成30年6月29日	事業報告等の提出
平成31年3月28日	事業計画書等の提出

5 寄附収入に関する事項

なし

附属明細書

平成 30 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和元年 5 月

公益財団法人 S G H 財団